

令和7年 第3回白馬村議会定例会 総務社会委員会審査報告書

本定例会において、総務社会委員会に付託された案件は、議案3件です。審査の概要と結果を報告します。

議案第48号 令和7年度白馬村一般会計補正予算(第2号)所管事項

歳入歳出それぞれ1億7488万1千円を追加し、歳入歳出予算の予算総額を74億6471万5千円とするもの。

【総務課関係】

財産管理事業105万4千円の増額は、県から譲り受けた砂防見張り小屋の水道設備修繕費によるもの。移住・定住・集落支援事業、商標登録手数料12万8千円増額は、地域通貨「アルプスペイ」の名称とロゴを第三者に登録され、使用できなくなるのを防ぐための商標登録手数料によるもの。デジタル地域通貨運用支援業務委託料400万円の増額は、地域通貨アプリ普及のため、マイナンバーカード認証を行った村民に2,000ポイントを付与するキャンペーンを実施するためのもので、物価高騰対応の地方創生臨時交付金と、小谷村からの1/3負担金を充当するもの。電算事業費、電算総合行政システム業務委託料127万1千円増額は、八十二銀行と長野銀行の合併に伴い、各システムで統合を行うためのシステムの改修費によるものです。

〔質疑・意見〕

問電算総合行政システム業務委託料について、八十二銀行と長野銀行両者の都合で合併をするのに、なぜ村で経費負担をしてシステム改修を行うのか。助成はあるのか。

答両者の責任分については、村はお金を一切支払わないが、白馬村が口座振替でお願いをしている税金や水道料金、職員の給与振込口座について、現在長野銀行に登録しているデータを八十二銀行の新しい口座番号に移す作業が必要となるため、その部分の委託費用ということになる。

【税務課関係】

物価高騰対応重点交付金事業、定額減税調整給付金5,100万円の増額は、令和6年度に実施した定額減税の調整給付の額に不足が生じた納税者に、追加で給付を行うもの。賦課徴収事業29万1千円の増額は、宿泊税導入準備のため、消耗品や通知用封筒、印刷・製本費などによるものです。

〔質疑・意見〕

問定額減税の不足分給付で5,000万円が見込まれているが、昨年度3万円の定額減税分を引くことができなかった方に対して還付するということで良いのか。

答昨年実施された定額減税で、減税しきれなかった分を後から補うために支給される給付金であり、納税義務者本人と扶養親族一人あたり3万円分を減額するというものである。令和6年度の所得が確定するまでは仮計算の所得で算出するが、確定金額とその計算に差額が生じた方に対して、1万円単位で支給をしていくものになる。

問これだけ白馬村の住民に対して、減税しきれなかったということなのか。

答補正予算については、おおよその上限額を見込んで計上しているが、その後、確定した所得情報をしっかり計算したところでは、見込み額を超すことはない想定している。

【住民課関係】

公衆トイレ管理事業30万6千円増額は、本年の大雪により破損した屋根の修繕をするもの。塵芥処理事業2377万3千円の増額は、北アルプス広域連合の補正予算で令和6年の可燃ごみ量割が適用されたことによるもの。し尿処理事業277万1千円増額は、白馬山麓事務組合のし尿処理費増額に伴う白馬村負担分です。

〔質疑・意見〕

問 公衆トイレ管理事業の修繕費について、どこの公衆トイレになるのか。

答 南神城の公衆トイレと木流川公園の公衆トイレで、南神城の公衆トイレは、屋根の上に出来た大きな雪の塊が落ちた際に電線を引っ張り、屋根の引込ごと破損してしまった。木流川の公衆トイレについては、経年劣化したポーチの部分の柱が大雪の重みによって破損した。

【健康福祉課関係】

乗り合いタクシー運行事業250万円の増額は、現在のデマンドタクシーや福祉輸送サービスでは、要介護や車椅子使用状況によって利用できない方のために、会計年度任用職員2名を乗車させて支援するものです。保健予防費257万8千円の主なものは、带状疱疹予防接種実績による増額や令和6年度分の国庫補助金負担金等の実績による返還金によるものです。

〔質疑・意見〕

問 昨年度に带状疱疹のワクチンを2回接種した場合で、今年度ワクチン接種の案内が手元に届いた場合は、すでに2回接種済なので打つ必要はないのか。

答 国の方針で、接種済の方は対象外となり、副反応のリスクもあるため、医師からもあまりすすめられていません。

問 保健予防費の自殺対策緊急強化事業補助金については、今回の補正のどこに充てがわれるのか。

答 当初は、補助対象外と考えていましたが、実際には一部減額のうえ対象となるとの、県回答を受け、新たに歳入に計上しました。

【教育課関係】

事務局費、委員報酬12万4千円は部活動地域移行にかかる協議会設置によるもの。学校環境整備事業126万円増額は、北小学校体育館西側壁面と北小学校の漏水の修繕費によるもの。北小学校管理事業、光熱水費63万円減額は、漏水工事完了に伴い、水道使用量の一部を工事費分として減額したものです。

〔質疑・意見〕

問 北小学校管理事業について、63万円がマイナスとなっているが漏水工事が完了した後の差額ということか。

答 かなり漏水があり、上下水道料金がのびていたが工事は完了し、精算の段階となっている。補正予算計上時はその段階までいっておらず、基本的には漏水のため還付にはなるが、金額が決まっていないため総務課と協議をし、今回は修繕費にかかる分だけの光熱水費分を減額させていただいた。

【子育て支援課関係】

子育て支援事業、通信運搬費8万2千円増額は、保育園の業務連絡クラウド導入と保育士1人1台パソコン配備に伴い、管理用としてふれあいセンターに新たに光回線を敷設するものです。子育て支援施設建設事業、設計管理委託料220万円増額は、解体工事の施工管理委託料によるもの。工事請負費2,097万9千円増額は、施設のアスベスト調査を行い、新たに検出されたことによる増額分によるもの。

〔質疑・意見〕

問 以前アスベストが問題になった時に点検をしたかと思うが、点検済で問題がない状態であっても、除去にこれだけの金額がいるということか。

答 平成20年の前だったと思うが、公共施設のアスベスト調査を行なっている。その時に調査したのは飛散するアスベストのみであり、飛散する恐れがないものについては調査をしていないため、施設ごとで調査をする必要がある。そのため検査をした結果、昨年解体工事を行なった教員住宅のようにアスベストが発見されたという状況である。

【生涯学習スポーツ課関係】

スポーツ振興事業、白馬村スキースポーツ強化事業補助金250万円増額は、予算要求後に250万円の寄付をいただき、寄付者の意向に基づき本事業に充当されるものです。図書館事業、土地購入費2,692万円増額は、将来の図書館建設を見据え、現在の子育て支援ルーム隣接地(約4,200㎡)を購入するためのもの。保健体育事業189万2千円の主なものは、ジャンプ競技場で行われたウォータースポーツフェスティバルやこの冬予定のノルディックスキーこどもの日の開催にかかる経費によるもの。

〔質疑・意見〕

問 図書館事業について、図書館用地を購入するなら、道路拡幅も必要になるのではないかと、その費用を含めると全体でどのくらいかかるのか。

答 これまでの経過を含めて用地を取得し、将来的に図書館を建設していきたいということであり、図書館の事業費をどれくらい見込んでいるかという部分については実施自体も完全に確定しているわけではなく、資材も高騰しているため、優先すべきは子育て支援施設ということになる。

問 環境防災ツーリズム委託料について、「環境防災ツーリズム」という言葉の意味を教えてください。

答 具体的には、中学校と信州大学が連携し、防災をテーマに「自分や地域を守る方法」「観光地での防災のあり方」などを考えアイデアをマップにまとめて観光客の案内にも活用する取組を進めている。

全体としての討論

討論 図書館の用地買収についてはまだ時期早々だと思うため、この補正予算に反対する。

採決したところ、議案第48号は、委員長除く委員多数の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第49号 令和7年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ603万4千円を追加し歳入歳出予算の総額を11億4113万4千円とするもの

特定健康診査等事業21万6千円の増額は、健康カルテ改正版対応のための電算委託料です。保険給付費負担金等償還金447万8千円の増額は、還付金の支出時の財源が、長野県から交付された普通交付金であることから、還付された金額を長野県に返還するため、当初予算計上額に不足する額を増額するものです。

質疑討論はなく採決したところ、議案第49号は、委員長除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第50号 令和7年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ49万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億4359万8千円とするもの

過年度還付金49万8千円の増額は、令和5年発生の黒豆沢土砂災害の被災者に対する保険料の減免額確定により長野県後期高齢者医療広域連合から認定された保険料の還付によるものです。

質疑討論はなく採決したところ、議案第50号は、委員長除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

以上、総務社会委員会の審査等についての委員長報告と致します。